

TOKYO
METROPOLITAN
MUSEUM
OF
PHOTOGRAPHY



MOHOLY-NAGY AND THE NEW VISION

モホリ=ナジとドイツ新興写真 1990年7月19日[木]—8月28日[火]

主催=東京都写真美術館 開館時間=午前10時—午後6時 入館は5時30分まで 休館日=第2・4水曜日 観覧料=一般・大学生200 160 円/小・中・高校生100 80 円、 内は10名以上の団体料金

ラスロ・モホリ=ナジ
エンネ・ビールマン
ヴァルター・ペーター・ハンス
T.ルックス・ファイニンゲル
ウンボ
フランツ・ロー
ポール・シトロエン
他

同時開催=アメリカ風景写真

東京都写真美術館

ワイマール共和国時代の1920年代のドイツは、芸術の一大実験場のような感があります。第一次大戦の重苦しい空気から開放されて、アーティストは全く新しい方向性を探り始めました。中でも、モホリ=ナジを中心としたバウハウスとその周辺写真家の斬新な作品と理論は、ドイツだけではなく、遠く日本にまでも多大な影響を及ぼしました。

1895年、ハンガリーに生まれたモホリ=ナジは、従軍後、タタなどの戦後の自由に満ちた芸術運動に傾倒します。光とその透過性、抽象芸術への強い興味は、絵画やデザインに加えて、写真を使った様々な実験に彼を向かわせました。ネガ・プリント、フォトグラム、フォト・プラスチック(フォト・モンタージュ)など、モホリ=ナジの試みは、それまでの常識を破る革命的な視点を示し、写真に新たな可能性を与えるものでした。

東京都写真美術館は、第二回目の展覧会として「モホリ=ナジとドイツ新興写真」展を開催します。ノイエ・フォトグラフィーと呼ばれた、若々しい情熱に溢れ、斬新な精神に満ちた1920年代、30年代のドイツの巨匠たちの作品群。本館コレクションの中から、ヴィンテージ・プリントを中心に94点で構成します。

講演会「モホリ=ナジ・写真・バウハウス」

日時=1990年8月5日日 2:00PM.

会場=東京都迎賓館 館内申し込み制

講師

大辻清司 九州産業大学教授

石元泰博 写真家

水沢勉 神奈川県立近代美術館学芸員



〔写真〕上から:エンネ・ビールマン(壁) before 1930(左) / ヤロスラフ・レスラー(アキュティオン弾き)1933(右) / フランツ・ロー(鏡の前の女)撮影年不詳 / ウィリアム・ヘンリー・ジャクソン(サウス・ドーム、グレイシャー・ポイントから望む)撮影年不詳 / アンセル・アダムス(凍った湖と断崖、シエラ・ネヴァダ、カリフォルニア)c.1932



モホリ=ナジとドイツ新興写真

MOHOLY-NAGY AND THE NEW VISION

〔同時開催〕

アメリカ風景写真

ウィリアム・ヘンリー・ジャクソンとアンセル・アダムス

西部開拓の高揚期に始まるアメリカ風景写真の系譜の中から、ウィリアム・ヘンリー・ジャクソン(1843-1942)とアンセル・アダムス(1902-1984)の作品、約20点を展示します。

南北戦争後、西部開拓は加速を増し、フロンティアは急速に西へ西へと移動していきました。未開の奥地へ向かう調査隊に同行した写真家たちは壮大で超然とした中西部の風景を記録しました。ジャクソンはその代表的な写真家の一人であり、彼の写真はイエローストーン国立公園制定のきっかけになったことでも知られています。

一方、ヨセミテをはじめアメリカ西部の壮麗な風景写真で知られるアダムスは、カメラのメカニズムを最大限に生かし、絵画とは異なる写真独自の表現を目指したf64(1932年結成)の中心的メンバーであり、スティーグリッツに始まる近代写真の確立に大きく貢献した写真家です。



JR・地下鉄有楽町線有楽町駅より徒歩5分
〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24
4-19-24 Ebisu Shibuya-ku Tokyo 150
Tel.03-280-0031

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography